



第3回学校運営協議会



「ふるさとを愛し 夢に向かい 共に学び 行動する子」

令和6年11月15日(金) 13:30~15:30

- 1 会長挨拶
- 2 校長挨拶
- 3 議長の選出
- 4 学校参観
- 5 前回の会議録確認 (CSディレクター)
- 6 研修会報告
 - ①CSディレクター
 - ②学校支援コーディネーター
- 7 熟議
 - ・ 学習支援について
- 8 連絡
 - ・ 学校運営協議会規則の確認 (委員の任期について)
 - ・ 次回開催日
令和7年2月12日(水) 13:30~15:30
 - ・ 熟議内容
 - ①R7年度学校経営方針の概要説明
 - ②学校関係者評価
 - ③学校運営協議会自己評価

令和6年度 第2回 下阿多古小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和6年 7月 4日（木） 13時30分から15時30分まで
- 2 開催場所 下阿多古小学校 3階総合活動室
- 3 出席委員 出野 光雄、大石 欽也、坪井 道男、新井 恵美子、大森 智恵、
内山 達也、武田 あゆみ
- 4 欠席委員 野澤 講一、鈴木 俊弥、市川 紀史
- 5 オブザーバー 内山 正実（下阿多古ふれあいセンター所長）、
大石 見無雄（青葉会会長）、
岡部 政三（青少年健全育成会会長、連合自治副会長）
- 6 学 校 木下 栄二（校長）、藤岡 政哉（教頭）、沖 みどり（CSディレクター）
- 7 教育委員会 井島 健蔵（教育総務課）
- 8 傍聴者 なし
- 9 会議録作成者 CSディレクター 沖 みどり
- 10 議長の選出

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、大石副会長から武田委員を推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。

11 協議事項

- （1）授業参観を受けての感想、意見
- （2）学校評価の確認
- （3）学校支援と学習支援
- （4）前回の学校支援と学習支援を受けて各委員からの報告

12 会議記録

司会の藤岡教頭から、委員総数10人のうち7人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

（1）授業参観を受けての感想、意見

議長の指示により、授業参観を受けて感想を求めたところ、委員からは、以下の発言があった。

- ・ 6年生を参観して、先生と子供たちが一体となり、授業が成立していることに感動を覚えた。（内山委員）
- ・ どの学年も落ち着いた態度で授業に臨んでおり、感心した。特に2年生の育てている野菜の観察がすばらしく、大変驚かされた。（新井委員）

- ・ 2年生の授業では、先生と子供たちのコミュニケーションの取り方が印象的だった。5・6年生では、しっかり自分の意見が発信でき、先生もそれを否定することなく受け入れながら導いていく授業もすばらしいと思った。

また、地域の人口の減少や家族構成の違いによる子供たちへの影響についても、それを認識し、どう働きかけていくかがこれからの課題であると考えている。(大衆委員)

- ・ 昨今の教育は、子供を抑えすぎていると思っている。もっと自由に活動させてもいいのではないかと考える中で、この学校では子供たちを自立させてくれる授業を行っていて、とても感心した。連合自治会としても、いろいろお手伝いできればと思っている。(岡部オブザーバー)

(2) 学校評価の確認

議長の指示により、別紙資料に基づき学校評価について各々確認をし、全員異議なくこれを承認した。

(3) 学校支援と学習支援

議長の指示により、2つのグループに分かれ、学校支援と学習支援に基づき「下阿多古の自然と地域の特色」について付箋使用によるワークショップを行った。

【Aグループ：出野委員、新井委員、内山委員、校長】

【Bグループ：大石副会長、坪井委員、大衆委員、武田委員、教頭】

議長から、委員により付箋に記入、貼付された多くの意見をもとに、第3回学校運営協議会での熟議資料とする旨の発言があった。

(4) 前回の学校支援と学習支援を受けて各委員からの報告

議長より、前回の学校支援と学習支援についての報告を行った。

- ・ 第1回学校運営協議会終了以降も、たくさんの情報をいただいております、今後の支援や活動を進めていくうえで参考になっている。精査した情報は、第3回学校運営協議会へも発展させていきたい。(武田委員)

その他報告事項等

司会から、次回会議は、令和6年11月15日(金)午後1時30分から会議室で開催する旨の報告があった。

CSディレクター研修会

日時： 令和6年9月26日（木）

10:00～12:00

会場： 浜松市教育センター 2F 研修室



1. 「CSディレクターの役割」の確認

- 開催通知の作成
- 会議資料の作成補助・印刷
- 会議録の作成
- 協議内容の情報発信（CSだよりの作成など）

～ 情報発信のポイント ～

- ① 何のために … 話し合う目的が明確になっているか
- ② どこまで話し合うか … 話し合うゴールが明確になっているか
- ③ どんなことが決まったのか … 合議で決まったことは何だったか

2. 事務処理上の留意点（開催通知、出席簿、会議録等）

- 間違いやすい箇所の確認

3. グループ協議（CSディレクターの取組みについて）

- 3～5名の校區別グループに分かれて協議
 - ① 二俣小学校 CSディレクター ⇨ 欠席
 - ② 上阿多古小学校・熊小学校（兼務） CSディレクター
 - ③ 下阿多古小学校・横山小学校（兼務） CSディレクター沖
 - ④ 光明小学校・光が丘中学校（兼務） CSディレクター ⇨ 欠席
 - ⑤ 清竜中学校 CSディレクター

第2回学校支援コーディネーター研修会

令和6年10月16日(水) 13:30-16:00
浜松市教育会館 大会議場

行政説明

①「これまでの研修内容の共有」

- ・学校支援コーディネーターとは
- ・あなたの学校運営協議会はどんな会議ですか？

【課題】何のために、どこまで話し合うのか明確にした熟議を！！

例) 何のために⇒学校の課題はあいさつだ。あいさつを大きな声で目を見てできるようにしたい。
どこまで⇒家庭や地域でできることについて議論をお願いしたい。

WHAT	何をするか
HOW	どんなふうにするか
WHY	何のためにやるのか

学校運営協議会の会議は誰のもの？ その支援は何のため？

②「支援内容を具体化する」

- ・学校のどのような課題を解決しようとしているのか？
- ・子供達にどのような力をつけようとしているのか？
- ・そのためにどんな支援を行うとよいのか？

「何を」「どんな意図で」「どのように支援」するのか具体化していく

グループ協議

「地域と連帯・協働した教育課程の実現に向けて～自校の取組～」

- ・何のための熟議や支援だったかを振り返る
- ・お互いの話を自分事として受け止める

これからの実践につなげていくため

下阿多古小学校 学校運営協議会 ～熟議内容について～

1年目 「学校行事の洗い出し」

- ・協議会委員が行事に参加し、まずは現状を知る
- ・そこでの感じたこと、課題、改善点を意見にだす

(すでに素晴らしい支援がある・支援者の後任問題・支援者への感謝の伝え方)

2年目 「あゆっ米作りにフォーカス」

- ・支援者を増やしていきたい⇒支援者に目的を具体化して伝える
- ・お米に関する授業内容を考える/先生方からも意見を出していただく

3年目 「あゆっ米販売に挑戦」

- ・キャリア教育を活かす(阿多古で起業している方々の話を聞く)
- ・二俣地区きころさん・天竜高校さんとの繋がりが生まれる
- ・下阿多古の自然・環境・文化・歴史を活かした支援をと発展中
どんな学びがあるのか、何ができるのか、阿多古の特色を知る

2025年に向けての今後の活動案

■学校、職員が必要とする支援を具体化する

グランドデザインに基づき、学校が必要としている支援の聞き取り

先生方が授業や学校生活の中で必要とするリアルな支援の聞き取り

12月の職員会議の際に、先生方へアンケートを配布し記入していただく

それを元に、必要な人材・物・事を熟議していく

■全校生徒へアンケート

協議会で熟議し、支援をした結果、子供達にはどんな学びがあったのか、何を感じたのか
感想や意見、または助けて欲しいことなど、必要な支援についての聞き取り

■協議会の連絡方法

現在進行形で動いている活動の共有や、必要な支援に関する情報を得たいため

グループメールまたはグループLINEなど、情報を共有できる連絡手段がほしい